

- 問1 香川県の地形図において、平野部に無数の小さな池が描かれている「讃岐平野」の地理的特徴について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 瀬戸内の気候に属し、降水量が少ないため、農業用水を確保するための「ため池」が発達している。 | 2. 木曽三川の合流点付近に位置し、洪水から集落を守るために周囲を堤防で囲った「輪中」が点在している。 | 3. 筑後川の下流に位置し、干満の差を利用して農業用水を取り入れる「クリーク」と呼ばれる水路が発達している。 | 4. 信濃川などの大河川の河口に位置し、水はけの悪い低湿地を排水して作られた広大な穀倉地帯である。 |
|--|---|--|---|
- 問2 香川県高松市を含む瀬戸内地域では、他の地域に比べて年間の降水量が少なく、古くから農業用水を確保するために「ため池」が多く作られました。このように降水量が少なくなる地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 対馬海流の影響を強く受け、年間を通じて高気圧に覆われる日が多く、上昇気流が発生しにくい | 2. 太平洋側から吹き込む夏の季節風が、四国山地を越える際にフェーン現象を引き起こして気温が急上昇するため | 3. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏と冬それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がさえぎられるため | 4. 冬の北西の季節風が非常に強いものの、日本海側で水分をすべて放出した後の冷たく乾燥した空気が直接流れ込むため |
|--|---|---|--|
- 問3 赤潮が発生する主なメカニズムとして、1960年代以降の社会状況の変化と関連が深い説明として適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 二酸化炭素の排出量が増加したことで海水の温度が上昇し、サンゴ礁が白化した。 | 2. 森林の伐採によって土砂が海へ流れ込み、海水の塩分濃度が急激に低下した。 | 3. 工場から排出されたメチル水銀が魚介類の体内に蓄積され、それを食べた人間に被害が出た。 | 4. 生活排水や工場排水の流入により、水中の栄養分が過剰になりプランクトンが異常増殖した。 |
|--|--|---|---|
- 問4 瀬戸内の地域では、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いという気候の特徴があります。この気候が形成される仕組みについて説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 一年を通じて安定した高気圧に覆われており、上昇気流が発生せず雲が作られないため。 | 2. 梅雨前線や台風の通り道から外れており、湿った空気が流れ込むことがほとんどないため。 | 3. 夏の湿った季節風が四国山地に、冬の湿った季節風が中国山地にさえぎられるため。 | 4. 黒潮（日本海流）の影響により、周辺の海域で上昇気流が抑制され乾燥した空気が流入するため。 |
|---|--|---|---|
- 問5 四国地方の愛媛県や高知県付近の気候と農業の特徴について述べた文として、適切な組み合わせはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--------------------------------------|
| 1. 寒流の影響による冷涼な気候と、冬の乾燥した晴天を活かしたリンゴなどの栽培。 | 2. 暖流の影響による温暖な気候と、台風がもたらす多量の降水を活かした柑橘類などの栽培。 | 3. 内陸部特有の年間を通じて雨が少ない気候と、砂丘地帯でのメロンやラッキョウの栽培。 | 4. 季節風による冬の積雪と、広大な平野部での大規模な機械化による稲作。 |
|--|--|---|--------------------------------------|
- 問6 四国地方にある4つの県について、各県の主要な農作物の収穫量を比較した統計において、みかん（かんきつ類）の年間収穫量が12万トンを超え、四国地方で最大の産地となっている県はどこですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 高知県 | 2. 香川県 | 3. 愛媛県 | 4. 徳島県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 高知県の平野部では、黒潮の影響による温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、ナスやピーマンなどの作物の成長を早める工夫が行われています。このように、他の産地からの出荷が少ない時期を狙って、出荷時期を意図的に早める栽培方法を何といいますか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 促成栽培 | 3. 露地栽培 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響 | 2. フェーン現象による乾燥した空気の影響 | 3. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響 | 4. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響 |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
- 問9 香川県の北部に位置し、本州四国連絡橋の一つである瀬戸大橋を通じて岡山県倉敷市と結ばれている都市があります。四国の玄関口として本州との間で人やものの移動が盛んなこの県庁所在地の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 徳島市 | 2. 高松市 | 3. 松山市 | 4. 高知市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 中国地方に位置する県のうち、2007年に世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡があり、鳥取県・岡山県・広島県・島根県の4県の中では最も人口が少ない県の県庁所在地はどこですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 岡山市 | 2. 広島市 | 3. 松江市 | 4. 鳥取市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 四国地方における交通網の整備とその影響について述べた次の文のうち、1985年から2015年の交通手段別利用者数の推移から読み取れる状況として、歴史的背景をふまえて正しいものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 瀬戸大橋の開通によって鉄道の利便性が飛躍的に高まったため、2015年時点では鉄道が最大のシェアを占めている | 2. 航空機の大規模化と空港の整備が進んだ結果、自動車を上回るペースで航空機の利用者数が推移している | 3. 橋の開通によって船舶の利用価値が見直され、自動車と船舶を併用する利用者が2015年にかけて倍増した | 4. 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある |
|--|--|--|--|
- 問12 山口県の瀬戸内海沿岸に形成されている「石油化学コンビナート」の仕組みや背景を説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 高速道路のインターチェンジ付近に工場を集積させ、部品の組み立てから輸送までを陸路中心で行っている。 | 2. 内陸部の豊かな水資源を利用して、半導体などの精密機械を製造する小規模な工場が各地に分散している。 | 3. 原料を精製する工場と、それを利用する複数の工場がパイプライン等で結ばれ、効率的に生産を行っている。 | 4. 海外から輸入した鉄鉱石や石炭を原料として、大規模な高炉を用いて鋼鉄を生産する体制を整えている。 |
|--|---|--|--|
- 問13 都道府県の統計において、面積が約1,877km²という全国最小の規模であり、果実の産出額が約8億円、製造品出荷額が2兆4,000億円を超えるといった特徴を持つ県について、その地理的説明として最も適切なものを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 近畿地方に位置し、県土の約6分の1を占める大きな湖を擁し、面積は約4,000km ² である。 | 2. 中部地方に位置し、盆地の気候を利用して果実栽培が盛んで、産出額が全国トップクラスである。 | 3. 関東地方に位置し、広大な平野を活用した農業が盛んで、面積は約6,000km ² に達する。 | 4. 四国地方に位置し、県庁所在地である高松市を中心に都市機能や産業が集積している。 |
|---|---|---|--|